絆 きずな

KANKEN

Vol.74［秋号］

2026年 11月発行

カンケン・フロンティア

Frontier

発行／菅野建設工業株式会社　福島県本宮市長屋字征矢田6　TEL.0243-44-2120（代）



「お客様第一主義」を掲げ、物流の付加価値を柔軟に追求し続ける
株式会社マルコ物流 高田第1営業所第2倉庫新築工事

工事概要

■工事名／株式会社マルコ物流高田第1営業所 第2倉庫新築工事
■所在地／二本松市北トロミ520外 地内
■発注者／株式会社マルコ物流
■工事内容／倉庫（営業用）／鉄骨造2階建て
■延床面積／3,191.85㎡
■設計・監理者／有限会社真島・建築設計事務所
■現場担当者／髙原大地・浅野正太・佐藤涼吾

ごあいさつ

代表取締役
菅野　泰助



「安全第一という覚悟」

建設業における「安全第一」は単なるスローガンではなく、100年以上前の米国の製鉄会社の教訓が示す通り、安全を最優先にすることが結果的に、仕事全体の質や生産性の向上につながる根幹の姿勢です。

現場担当者は工期・予算・品質の確保を求められがちですが、時間を縮めるための「近道」が、長期の工事停止や甚大な損失を招くことがあります。災害による痛みは負傷した本人だけでなく、家族・仲間・協力会社・発注者・地域社会にも及びます。

現場は高所作業や重機の稼働など状況が常に変化するため、「これをすれば万全」という特効薬や即効薬はないとされています。そのため、安全管理には以下のような実践と心構えが求められます。

まず、逆説的ですが現場従事者一人ひとりが「危険がある」と自ら察知し、立ち止まって考える「ひとりKY（危険予知）」が事故防止の基本となります。保護具や安全設備、パトロールなども欠かせませんが、「こうすれば安全だ」という手順を現場でどうすれば確実に守れるかが安全管理の難しさの本質です。

人間は急ぎ・慣れ・忘れ、ときに自己流で判断してしまう生き物であるため、安全への緊張感を保ち続けることは容易ではありません。だからこそ「言ったから大丈夫」「分かってくれているはず」と安易にあてにせず、何度でも伝え、繰り返し確認し、危険の芽を見つけたらその場で止めるという地道な働き掛けを「諦めない」ことが重要です。

安全は全てに優先するものであり、一方的な指示にとどまらず、互いに声を掛け合い、気付きを伝え合える現場をつくることが大切であり、設備や標語を過信せず、決して諦めずにゼロ災への挑戦を続けてまいります。

KANKEN NEWS

■二本松市北トロミ520外 地内　令和8年8月29日竣工

株式会社マルコ物流 高田第1営業所 第2倉庫新築工事



倉庫内部



お引き渡し 株式会社マルコ物流 遠藤吉次社長様(左)と当社菅野泰助社長

かねてより当社が工事を進めてまいりました株式会社マルコ物流様の「高田第1営業所第2倉庫新築工事」が、令和8年8月29日に竣工いたしました。

株式会社マルコ物流様は、昭和6年創業の「丸や運送」様を母体とした「丸やグループ」の一角として、平成元年に二本松市宮戸に倉庫業として創業されました。

「物流の付加価値をどこまでも追求し、顧客のニーズに応える」をモットーに、物をただ運ぶのみでなく、現場それぞれの様々な課題を、物流全般に携わり培った知見で解決され、物流を通じて地域社会に貢献されていらっしゃいます。さらに、「自然災害あるいは感染症の発生時においても人命を最優先し、社員、社員の家族の安全と生活を守り、さらに物品の供給を継続することによりお客様や地域社会のインフラへの影響を限りなく最小限に抑える」ための策定書が、令和3年に「事業継続力強化計画」として経済産業省に認定されました。

今回、二本松市北トロミにて18,836.59㎡の広大な敷地に完成した高田第1営業所第2倉庫は、鉄骨造2階建てです。

デジタルの技術がどんなに進んでも、「モノ」と「人」を直接繋ぐための物流という産業は社会に於いて絶対不可欠な分野の一つであり、その重要性は今後さらに高まっていくでしょう。

創業以来、「お客様第一主義」を掲げ、使命感を持って堅実かつ誠実に事業を展開し続ける株式会社マルコ物流様の、今後ますますのご躍進が期待されます。

KANKEN NEWS

■本宮市稲沢字見切田地内　令和8年8月26日竣工

稲沢分館長寿命化改修工事（建築主体）





お引き渡し 本宮市高松義行市長様(右)と当社菅野泰助社長

昨年12月より当社が改修工事をすすめてまいりました白沢公民館稲沢分館が、令和8年8月26日に竣工、完成引渡式が行われ、9月11日よりリニューアルオープンいたしました。

今回の改修工事では、工法を軟式化したうえで、建物の長寿命化工事をメインに内部の全面リフォームを行ったほか、外壁張り替えを含む建具の更新、段差解消によるバリアフリー化、陸屋根部の防水やり替え、加えて避難所としての機能拡充も行いました。

リニューアルした白沢公民館稲沢分館が、かつてよりも一層、稲沢地域の皆様の交流・生涯学習の場として活用され、また万一の際にも、住民の皆様の心強い拠点となるよう願ってやみません。

工事概要

■工事名／稲沢分館長寿命化改修工事(建築主体)　■所在地／本宮市稲沢字見切田地内
■発注者／福島県本宮市　■工事内容／集会場(地区公民館)、鉄骨造平屋建て
■建築面積／463.85㎡　■延床面積／439.95㎡
■設計・監理者／有限会社真島・建築設計事務所
■現場担当者／斎藤裕一・佐藤丞(建築)、大内康寛(外構)

安全祈願祭　当社施工物件の起工式をご紹介いたします

長屋神社
本殿・拝殿屋根修繕工事



玉串を奉奠する渡辺義正長屋神社大総代 様

■期日／令和8年8月9日
■所在地／本宮市長屋字宮山26
■発注者／宗教法人 長屋神社
■工事内容／既存屋根改修工事
■完成予定日／令和8年11月28日

道の駅ふくしま東和・東和活性化センター
改修主体工事



玉串を奉奠する武藤久幸二本松市東和支所地域振興係長 様

■期日／令和8年9月16日
■所在地／二本松市太田字下田地内
■発注者／福島県二本松市
■工事内容／物販店舗／木造一部RC造
S造平屋建て
■建築面積／1,374.53㎡
■完成予定日／令和9年6月18日

佐久間工業株式会社
第3工場新築工事



鍬入れをする佐久間工業株式会社 佐久間和弘社長 様

■期日／令和8年10月2日
■所在地／福島県本宮市本宮字小幡16・17地内
■発注者／佐久間工業株式会社
■工事内容／工場（鉄骨加工）／
鉄骨造平屋建て（準耐火構造ロ-2）
■建築面積／1,573.20㎡
■完成予定日／令和9年3月31日

竣工&お引渡し　竣工・お引渡し物件をご紹介いたします

白沢鉄筋工業株式会社
社宅新築工事



■所在地／本宮市糠沢字二斗内
107-2の一部
■発注者／白沢鉄筋工業株式会社
■工事内容／寄宿舎／木造2階建て
■建築面積／143.60㎡
■設計・監理者／菅野建設工業株式会社
一級建築士事務所
■現場担当者／佐藤ひとみ

日本化学工業株式会社福島第二工場
テント倉庫新築工事 造成・新築工事



日本化学工業株式会社 永山高広 福島第二工場 執行役員工場長 様と
当社菅野泰助社長

■所在地／田村郡三春町字天王前3番地外 地内
■発注者／日本化学工業株式会社
福島第二工場
■工事内容／倉庫／鉄骨造平屋建て
（テント倉庫張り）
造成・外構：重力式擁壁工・
練積みブロック工 他一式
■建築面積／180.0㎡
■設計・監理者／菅野建設工業株式会社
一級建築士事務所
■現場担当者／渡邉優輝（建築）
大内康寛（造成外構）

信夫工業株式会社日和田アスファルト混合所
リサイクルプラント建替え工事



■所在地／郡山市日和田町高倉字
神送坂3-1の一部、7-1の一部
■発注者／信夫工業株式会社
■工事内容／工場／鉄骨造平屋建て
■建築面積／156.80㎡
■設計・監理者／有限会社真島・建築設計事務所
■現場担当者／丹内直人

都市構造再編集中支援事業
二本松駅南口広場線道路改良工事



■所在地／二本松市市海道地内
■発注者／福島県二本松市
■工事内容／道路改良工L=71.496m
W=7.0m(12.0m)、
盛土V=1,934.6㎥、
地盤改良工V=1,479.2㎥、
上層路盤工A=498.4㎡、
帯鋼補強土壁L=69.0m
■現場担当者／木口海翔、石川清徳

施工中物件紹介

河川（交付）工事（橋梁下部）【五百川筋】



■所在地／本宮市仁井田地内外
五百川橋
■発注者／福島県県北建設事務所
■工事内容／橋梁下部工
橋台N=1基、
橋脚N=1基
■現場担当者／五十嵐謙
■完成予定日／令和9年2月26日

（仮称）薬王堂喜多方関柴店 新築工事



■所在地／喜多方市関柴町上高額字
新堀21-1、21-2、21-3
■発注者／株式会社薬王堂
■工事内容／店舗／鉄骨造平屋建て
■敷地面積／3,952.91㎡
■延床面積／1,151.88㎡
■現場担当者／矢川智教（建築）、
渡邊智・齋藤祐樹（土木）
■完成予定日／令和8年11月13日

落札・契約物件紹介　1,000万円以上を記載

土木

【6月】◆令和8年度（仮称）子育て支援センター敷地造成工事【大玉村】
【7月】◆道路橋りょう改良（改良）工事（舗装補修）【二本松三春線・白岩地内】【本宮市】
◆道路橋りょう改良（改良）工事（舗装補修）【二本松三春線・和田地内】【本宮市】
【8月】◆イオンモール郡山従業員駐車場道路拡幅工事及び造成工事【郡山市】

建築

【6月】◆日本化学工業株式会社福島第一工場 管理棟改修工事【郡山市】
【8月】◆長屋神社 本殿・拝殿屋根修繕工事【本宮市】
【9月】◆佐久間工業株式会社第3工場新築工事【本宮市】
◆株式会社丸や運送 高西外部トイレ新築工事【二本松市】
◆フラワー皮フ科クリニック増築工事【二本松市】

event of company

社 内 行 事

第37回安全衛生大会

第37回安全衛生大会が、9月10日、サンライズもとみやで行われました。当日は、社員および協力会社から262人の方々に参加頂きました。

開会にあたり、当社菅野泰助社長より、「安全管理は最も重要な課題。作業前の確認や声掛けを徹底し、今後も安全第一で仕事に取り組みましょう」と挨拶がありました。

安全講話では、交番（KOBAN）博士 元女性警察官の女優 田中杏樹様より、「元女性警察官が教える安全管理術～危険はコミュニケーションで回避しよう～」をテーマに講話頂きました。

また、社員や協力会社社員から安全衛生功労者の表彰、安全標語コンクール入賞者の表彰も行われました。



当社菅野泰助社長による挨拶


田中杏樹様 講演の様子

土砂災害救助訓練への協力

令和8年7月7日、当社の土取場（本宮市稲沢字谷戸地内）を使用して、安達地方広域行政組合南消防署救助隊員他15名が、豪雨による土砂災害の発生に備え土砂災害救助訓練を実施いたしました。

当日は土木本部工事・機材課長 安齋忠幸氏、工事・機材課輸送係 田中得氏の2名が重機の運転などを行い、訓練に協力いたしました。


土砂災害救助訓練への協力の様子


土砂災害救助訓練の様子

令和8年度現場見学会

一般社団法人福島県建設業協会主催にて、建設業界の役割や魅力を伝えること、若年者の職業意識を高めることを目的として、「河川（交付）工事（橋梁下部）【五百川筋】」で現場見学会が行われました。

令和8年6月24日、学校法人 松韻学園福島高等学校 普通科実務選択コース2・3年生15名、令和8年10月7日、福島県立 明成高等学校 環境土木科1年生18名を対象に、工事の現場代理人を務める、当社の五十嵐謙土木本部工事課主幹が当日の作業内容や下部工を設置する施工方式、手順などを現場を見ながら説明しました。

また、見学会終了後、桂澤健斗土木本部工事課技士が、生徒達の前で講話し、「たくさんの人の役に立ち、地図に残るやりがいのある仕事です。」と建設業の魅力を話しました。


見学会の様子：学校法人 松韻学園福島高等学校
（現場代理人 五十嵐謙土木本部工事課主幹）


見学会の様子：福島県立 明成高等学校
（桂澤健斗土木本部工事課技士）

白沢中学校 職場体験学習

9 月1日～2日の2日間、本宮市立 白沢中学校の2年生3名が参加した職場体験学習を実施しました。

生徒達には稼働中の現場（建築／岩根地区公民館耐震補強改修工事、土木／河川（交付）工事（橋梁下部）【五百川筋】）で職場の雰囲気に触れ、仕事を通しての苦労や喜びを体験してもらい、また、会社内の施設も見学してもらいました。

参加した生徒からは「貴重な経験をすることができ働くことの大変さや、やりがいを強く感じました」などの感謝の言葉が寄せられました。


建築作業所での体験学習の様子


土木作業所での体験学習の様子

令和8年度インターンシップ（現場実習）

建設業の役割や魅力を体験してもらおうと、県内の高校生を対象に実際の職場を見学・体験して頂く現場実習を9月8日～10日の3日間実施しました。

二本松実業高等学校 都市システム科2年生5名、実際の工事現場を見学し、測量したり重機の操作説明を聞いたりしたほか、当社の危険体感実技センターでは、VR技術を活用してCGで再現した足場からの墜落を疑似体験したり、カンケンフィットネスジムを見学して頂きました。



土木作業所での現場実習の様子

地域貢献の美化活動

社会・地域貢献の一環として、当社が工事を担当した稲沢分館周辺、マルコ物流高田第1営業所第2倉庫周辺の美化活動を実施致しました。

令和8年9月15日、本宮市の稲沢分館周辺では、当社社員および協力会社14社、合計20名が参加し、2班に分かれ周辺市道に落ちているごみを拾い、地域の美化に取り組みました。

令和8年9月25日、二本松市の平石高田工業団地周辺では、当社社員および協力会社10社、合計14名が参加し、ごみを拾い、地域の美化に取り組みました。


稲沢分館長寿命化改修工事周辺


株式会社マルコ物流 高田第1営業所第2倉庫新築工事周辺

労働災害防止研修会

令和8年6月～9月にかけて労働災害防止のための研修会を、当社の危険体感実技センターで開催いたしました。

研修会には、当社全社員及びアンサード社員をはじめユニマテック株式会社（茨城県北茨城市）様、福島・郡山労働基準監督署様、新地発電所安全衛生推進協議会様、その他の企業の方々合計137名が参加しました。

センター内の様々な設備を用いて、VR技術を活用しCGで再現した①足場からの墜落、②土砂崩壊巻き込まれの衝撃感覚を疑似体験したり、滑り・転倒・脚立作業、安全帯ぶら下がり、墜落・飛来・落下体験など、現場で起こりうる労働災害の危険を直に体感した上で、危険回避のポイントや具体策などを確認しました。

今後もこの研修を通して、参加者の皆様とともに安全意識の向上に努めてまいります。



研修会の様子


当社は、社員が心身ともに
元気に働ける会社を目指して、
健康づくりに取り組んでいます。

菅野建設工業は
福島ユナイテッドFCを
応援しています。